

1/26日

祖母の最期に立ち会えず

会社員

24 (東京都江東区)

昨年末、祖母ががんで亡くなりました。祖母は持病がありながらコロナ下のため病院に行くのを控えていましたが、体調悪化により救急車を呼んで総合病院で診察を受けた結果、末期のがんと分かりました。コロ

ナ対策のため総合病院では面会できず、別の病院の緩和ケア病棟でも面会者が限られ、私も母も祖母に会えませんでした。やむを得ないことはいえ祖母の最期に立ち会えず、私は胸が張り裂けるような思いです。

医療の逼迫と言われますが、コロナの重症患者を受けて入れられなくなったり医療従事者が疲弊したりするだけではありません。コロナ以外の患者が治療を受けられず助かる命も救えなくなり、より大勢の人々が悲しむことになるのです。

一人一人の「自分には関係ない」が集まり、「第3波が猛威を振るってい」と感じます。反対に、一人一人の我慢が積み重なれば大きな力となつて悲しむ人は減るのでないでしょうか。この思いが、少しでも多くこの人に届くよう願います。